

支え合いの 地域づくりの推進

校区コミュニティ組織等と連携し、市内28校区で「支え合い推進会議（地域で支え合っていくためのまちの仕組みづくりについて協議する場）」が設置されました。

福祉教育の推進

● 福祉学習を支援するため、

法定後見申立てに関する手続きなどの相談支援、制度の普及・啓発のための広報など、利用促進に努めました。

家庭裁判所と連携を図り、本会が後見人となる法人後見事業を行い、地域における権利擁護体制の整備を進めました。

● ボランティア情報の発信のため、情報紙「まれと」を発行しました。また、ボランティア活動への関心を高め、活動への応援のため「ボランティアフェスティバル」の開催を支援しました。

● SNS等を活用し、福祉活動への参加を促進するような広報活動に努めました。また、広報紙「くるめ福祉」の編集についてはレイアウトの見直しなど、読みやすい紙面づくりに努めました。

成年後見事業の推進

● ライフレスキュー久留米連絡会事務局として、市内の社会福祉法人とも連携して、生活困窮者支援や課題の解決に取り組みました。

ボランティア活動の活性化



中高生ボランティア講座

学校・企業などへ車いすなどの機器の貸し出しを行ったことから、市の要請により、障害がある当事者やボランティア活動者を講師として派遣し啓発活動に取り組みました。

生活困窮者の 自立支援



り、浸水被害等が甚大であつたことから、市の要請により、災害ボランティアセンターを開設し、被災者の日常生活を回復するボランティア活動の支援を行いました。閉所後は、運営の課題等を踏まえマニュアルの改訂を行いました。

広報啓発の強化



災害ボランティア活動

日本赤十字社久留米市地区 赤十字活動資金について ～報告とお礼～

平成30年度実績額

33,340,049円

昨年度の久留米市内で集まりました赤十字活動資金の金額です。ご協力いただきました、多くの皆様へ深く感謝申し上げます。

このお金は、日本赤十字社が行う『いのちを救う』『ひとを育む』『せいかつを支える』といった3つの活動領域で活用されます。



問い合わせ

日本赤十字社久留米市地区(市社会福祉協議会内)
TEL0942・34・3035 FAX0942・34・3090

収入の内訳

